

開発行為等同意申請書に係る添付図書等の提出方法

以下の順に編集して提出してください。

番号	図書の名称	明示すべき事項	縮尺（様式）	備考	×
1	開発行為等同意申請書	全ての事項を記入	規則様式第1号 その1	正本1通、副本1通	
2	申請者を証明する書類			法人の場合は商業登記簿謄本、個人の場合は住民票抄本	
3	委任状			・申請を委任した場合に限る。	
4	土地開発事業概要書	全ての事項を記入	様式 第1号		
5	開発区域の位置図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発区域の位置 ・ 方位、主要道路、目標となる地物等 ・ 排水先経路(青色)及び河川名 	1/50,000 以上		
6	開発区域地形図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方位、地形 ・ 開発区域の境界（赤枠） ・ 排水先経路(青色) 	1/2,500 以上	等高線は、2mの標高差を示すものとする。	
7	公図の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発区域の境界（赤枠） ・ 土地の地番、形状、所有者の表示 ・ 道路（里道）の表示（赤色） ・ 水路、河川（青線）の表示（青色） 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 法務局保管の公図 ・ 開発区域及びその周辺を含む。 	
8	土地の登記簿謄本				
9	土地の一筆調書		参考様式		
10	関係者への周知状況等を記した書面			地域住民及び利害関係者に対する周知状況、調整等の経過、結果等を記した書面等	
11	施行同意書	開発区域内の土地等の権利を有するものの施行に係る同意書		実印を押印し、法人にあっては印鑑証明書、個人にあっては印鑑登録証明書を添付のこと。	
12	その他同意関係文書				
13	公共施設等管理者の同意書				
14	関係法令に基づく許認可の写し	開発に伴い必要となる関係法令に基づく許認可書の写し		申請中の場合には、提出先での受理印を押印した申請書の写し	

番号	図書の名称	明示すべき事項	縮尺(様式)	備考	×
15	現況平面図	<ul style="list-style-type: none"> ・方位、地形 ・開発区域の境界(赤枠) ・境界杭の表示 ・開発区域に隣接する土地の状況 ・開発区域内外の公共施設及び公益的施設的位置、形状等の表示 ・既設の建築物、工作物等の位置、形状等 	1/1,000以上	<ul style="list-style-type: none"> ・申請に当って、事前に公共物との境界確定を行っておくこと。民地との境界についても同様とする。 ・必要に応じて、凡例を表示すること。 	
16	土地利用計画平面図	<ul style="list-style-type: none"> ・方位、地形 ・開発区域の境界(赤枠) ・境界杭の表示 ・公共施設等の位置、形状、面積等 ・予定建築物の位置、形状、用途等 ・排水施設的位置、形状及び流水方向 ・開発区域内外の道路の位置、形状及び幅員 	1/1,000以上	<ul style="list-style-type: none"> ・断面図を作成した箇所に、断面図と照合できるように位置及び記号を附すこと。 ・必要に応じて、凡例を表示すること。 	
17	造成計画平面図	<ul style="list-style-type: none"> ・方位、地形 ・開発区域の境界(赤枠) ・境界杭の表示 ・切土(茶色)盛土(緑色)する土地の部分 ・のり面(がけ)擁壁の位置、形状、種類等 ・道路の位置、形状、幅員、勾配及び交差点の計画高 ・予定建築物等の敷地の形状及び計画高 	1/1,000以上	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模な土地開発事業の場合、土地利用計画平面図に図示することも可。 ・断面図を作成した箇所に、断面図と照合できるように位置及び記号を附すこと。 ・必要に応じて、凡例を表示すること。 	
18	給・排水施設計画平面図	<ul style="list-style-type: none"> ・方位、地形 ・開発区域の境界(赤枠) ・給水施設的位置、形状、内のり寸法等 ・取水方法 ・消火栓の位置 ・排水施設の名称、位置、形状、種類、流水方向、勾配、吐口の位置 ・放流先の名称、位置及び形状 ・予定建築物等の敷地の形状及び計画高 ・のり面(がけ)及び擁壁の位置及び形状 	1/500以上	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模な土地開発事業の場合、土地利用計画平面図に図示することも可。 ・流量計算書との照合符号を表示すること。 ・必要に応じて、凡例を表示すること。 	

番号	図書の名称	明示すべき事項	縮尺（様式）	備考	×
1 9	造成計画断面図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発区域の境界（赤色） ・ 切土（茶色）又は盛土（緑色）する前後の地盤面 ・ 擁壁、がけの位置 ・ 計画地盤高 	1/1,000 以上		
2 0	がけ、擁壁の断面図	<ul style="list-style-type: none"> ・ がけの高さ、勾配及び土質 ・ 切土又は盛土する、又は擁壁を設置する前後の地盤面 ・ 擁壁の種類、材料、寸法、構造等 ・ 擁壁を設置しない場合のがけ面の形状及び保護の方法 	1/50 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高さ 1 m 以上のものについて作成すること。 ・ 擁壁でおおわれるがけ面については、土質に関する事項は、示すことを要しない。 ・ 原則として、擁壁構造計算書を添付すること。 	
2 1	道路の断面図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装の構成及び詳細 ・ 雨水樹及び取付管の形状 ・ 道路側溝の位置、形状及び寸法 ・ 道路幅員及び横断勾配 ・ 測点、勾配、計画高、地盤高、単距離、追加距離、縦断曲線、平面曲線 	横断面図は 1/50 以上 縦断面図は 1/500 以上		
2 2	施設の構造図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 側溝、がけ、防護柵、集水樹、擁壁等の施設の構造図、寸法、仕様等を表示 			
2 3	求積図				
2 4	防災工事計画平面図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方位、等高線、段切位置 ・ 防災施設の名称、位置、形状及び寸法 ・ 土砂流出防止（流土止め）計画 ・ 工事中の雨水排水経路 ・ 防災措置の時期及び期間 	1/1,000 以上		
2 5	防災施設構造図		1/100 以上		
2 6	流量計算書			集水区域図を添付すること。	
2 7	土量計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搬入、搬出先を明示 			
2 8	その他市長が指示する図書				

注 1： 添付図書には、全て作成者が記名及び押印すること。

注 2： 添付図書には、索引を用いること。

注 3： 都市計画法及び宅地造成等規制法に基づく許可申請を伴う場合には、法令に基づく基準を採用すること。